松前町 議会だより

No.80
2013年11月1日発行
愛媛県伊予郡
松前町議会

9月定例会

2P　9月定例議会　県内初　予算決算常任委員会設置
6P　委員会ニュース　松前を全国発信　ほか
8P　一般質問
・筒井徳丸線の国道より東の計画は
・地域防災における備蓄は
・学校の防災対策と健康支援は
・町道東176号線の認定方法は
・社会保障制度改革が及ぼす影響は
14P　議員研修

稲刈りで汗する東古泉　相原さん（家族紹介を裏表紙に）

こんなことが決まりました

９月定例議会は、９月９日から17日間の会期で開かれました。審議内容の主なものは以下のとおりです。

★平成25年度補正予算案

一般会計　**1**億**8353**万円　増額
特別会計　**1**億　**259**万円　増額
（詳細はＰ６・16に）

他に報告１件、予算、条例関連で計15件の議案が提出され、各常任委員会に付託し、本会議場においても十分な審議を経て全案件を全会一致で承認・可決した。

★議員提出議案３件

① 松前町議会委員会条例の一部を改正する条例
② 「道州制導入に断固反対する意見書」の提出
③ 松前町議会会議規則の一部を改正する規則

☆平成24年度決算認定関連の２議案

新設した予算決算常任委員会に付託、閉会中の**継続審査**とした。

条例制定
松前町子ども・子育て会議条例は

◎国の子ども・子育て支援法の規定に基づき設置するもの

○会議の役割

子どもや子育て支援に関係する施策を考えるときに、保護者や児童福祉、幼児教育などの専門家に関わってもらい、より充実したものにするために設置する。

○会議の構成委員

・保護者
・子ども支援事業に従事する者
・大学の先生など専門家
・障害児支援に携わる者
など15人以内

○任期

２年以内。
再任はできる。

議論になった項目
町道東176号線の道路認定をめぐって

９月20日の産業建設常任委員会で町道東１７６号線については、継続審査となっていたため本会議の最終日に採決し、否決した。直ちに再度委員会を開催し、審査しなおした結果、全員一致で可決した。

論点

理事者側よりＪＲ貨物基地移転に伴う周辺地域整備の一環として現在の老朽化した駅をまたぐ陸橋を改修し自由通路として町道認定の承認を要請。

また国、県の補助金の申請時期が迫っているし地域住民の長年の要望でもあると提案理由を付加した。

★　これに対し、町の試算は１億５千万円かもしれないが、ＪＲ側の詳細設計による総額が不明であり高額な試算が出る可能性も十分あるなかでは承認できかねる。

自転車も通行できる歩道橋でしかもホームに降りれる利便性もあるのならＪＲの負担もあっていいのではないかなどの反対意見もあった。

★　一方で６月の詳細設計費用２千万円も承認しているし、この時期を逃すと周辺住民の要望が実現できないかもしれないので町道認定はすべきとの賛成意見もあった。

結果、再審議の末、全員一致で採択した。

老朽化した陸橋も改修され町道に

9月 定例議会 9／9～9／25

議員提出議案
県内20市町で初の予算決算常任委員会を設置する

①この条例改正は左図の通り、従来の4つの常任委員会である総務・文教・厚生・産業建設を事業の関連性から『総務産業建設』『文教厚生』の2つに再編。

また、議会広報編集特別委員会を常任委員会とし新たに予算決算常任委員会を設置した。

論点

この予算決算常任委員会の設置に関しては議長以外の13人全員で通年にわたり審査に関わるものとなる。

★下部組織の分科会と通常の常任委員会の審議内容の区分がわかりにくいなど懸念事項もあるので導入には時期尚早という反対意見もあった。

★これに対し、予算決算を全員でしっかり把握し行政の事業内容全般について理解が深まり分割付託の問題も解消される。

また、多少の試行錯誤は、実践しながら調整していくことで解消されるという意見もあった。

結果、賛成多数で可決した。

旧常任委員会	新改正後の常任委員会	人数
総務 産業建設	① 総務 産業建設常任委員会	7人
文教 厚生	② 文教 厚生常任委員会	7人

旧特別委員会	新改正後の常任委員会	人数
議会広報編集特別委員会	議会広報常任委員会	7人
決算特別委員会	予算決算常任委員会 ↓ 内容により分科会審査 ↓ ① 総務産業建設 ② 文教厚生 ↓ 予算決算常任委員会にフィードバックされる	13人 （議長を除く全員）

道州制導入に断固反対する意見書

②道州制は導入後の国のかたちを示さないまま、事務権限の受け皿という名目のもと、ほとんどの町村においては事実上の合併を余儀なくされる恐れが高い上、再編された基礎自治体は住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまう。

結果、全員一致で可決した。

人事案件
議長辞職勧告決議案の可決後も続投表明
副議長は選挙で再任

松前町議会では、申し合わせ事項として議長の任期を1年とし、再任は妨げずとなっているが、今回、任期満了を迎えた三好勝利議長が辞表を提出せずに続投を正式表明した。

それに対し伊賀上明治議員が議長辞職勧告決議案を緊急動議として提出した。

提案理由として「脈々と受け継がれてきた申し合わせ事項を無視して議長職に固執しているが、いったん辞職して再選を目指すべき」と説明した。

三好議長は「新しい議会のため議案が可決された。これにより町民の皆さんときれいな町をつくるため、より良い議会にしたいため」と続投の理由を述べた。

★それに対し他の議員から「地方自治法では議長の任期は4年だ。申し合わせを守る必要はない」

★「なし崩し的に慣例を破るのではなく、それが時代に合わないのならいったん辞職され、新議長の下でルールを定めるべきだ」など、賛否両論の議論の末、採決した。

結果、退場者も出たが賛成多数で可決した。

ただ、辞職勧告に法的拘束力はないので、可決後も三好議長の下で審議を続け閉会した。

なお、副議長の松本一二美議員は、慣例通り辞表を提出し、選挙により再任した。

その他の人事については、次ページに明記。

議会人事

議会の人事構成が決まりました。

議長　三好　勝利
副議長　松本一二美

総務産業建設常任委員会
委員長　寺下　武
副委員長　稲田　輝宏
委員　木下　淳
委員　伊賀上明治
委員　澤田登代一
委員　村井慶太郎
委員　稲田　孔

文教厚生常任委員会
委員長　加藤　博徳
副委員長　八束　正
委員　三好　勝利
委員　岡井馨一郎
委員　松本一二美
委員　早瀬　武臣
委員　藤岡　緑

議会広報常任委員会
委員長　藤岡　緑
副委員長　松本一二美
委員　八束　正
委員　寺下　武
委員　加藤　博徳
委員　稲田　輝宏
委員　稲田　孔

予算決算常任委員会
委員長　岡井馨一郎
副委員長　早瀬　武臣
委員　議長を除く全議員

議会運営委員会
委員長　木下　淳
副委員長　村井慶太郎
委員　岡井馨一郎
委員　藤岡　緑
委員　寺下　武
委員　加藤　博徳

※議長は、全組合議会議員となる。

一部事務組合

伊予市松前町共立衛生組合議会議員
澤田登代一
早瀬　武臣
八束　正
加藤　博徳

伊予地区ごみ処理施設管理組合議会議員
松本一二美
寺下　武
稲田　孔

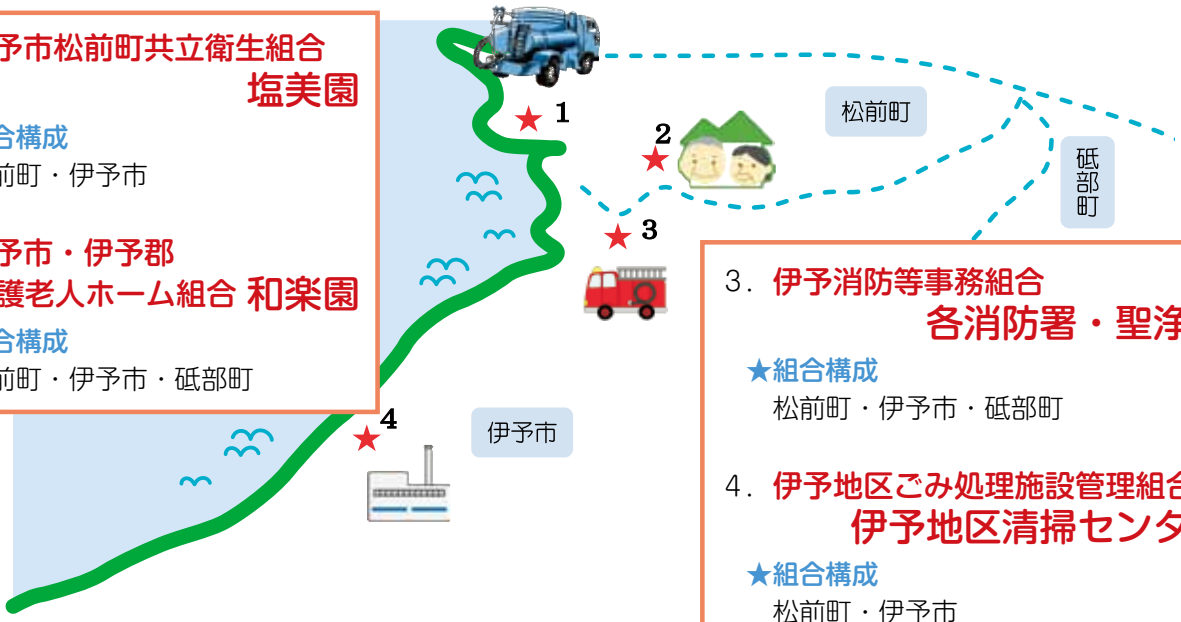
伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合議会議員
伊賀上明治
岡井馨一郎
稲田　輝宏

伊予消防等事務組合議会議員
木下　淳
村井慶太郎
藤岡　緑

紹介します　町議会が関わる事務組合

議会は、事務組合の運営に関与しています。

組合構成市町が経費を負担し、住民の生活に係る事業を４つの分野に分けて運営しています。
それぞれ所属する議員が資産運用などのチェックを行います。



1．伊予市松前町共立衛生組合
塩美園
★組合構成
松前町・伊予市

2．伊予市・伊予郡
養護老人ホーム組合 **和楽園**
★組合構成
松前町・伊予市・砥部町

3．伊予消防等事務組合
各消防署・聖浄苑
★組合構成
松前町・伊予市・砥部町

4．伊予地区ごみ処理施設管理組合
伊予地区清掃センター
★組合構成
松前町・伊予市

９月定例議会

提出議案及び請願への各議員　賛否表

※　△議長　○賛成　●反対　「欠」欠席　「除」除斥　「退」退席

議案番号など・議案名	議員名	稲田孔	稲田輝宏	加藤博徳	寺下武	八束正	藤岡緑	村井慶太郎	早瀬武臣	松本一二美	澤田登代一	岡井馨一郎	伊賀上明治	三好勝利	木下淳
提3	松前町議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
報3	平成24年度決算に係る財政指標の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
52	平成24年度松前町歳入歳出決算認定について	予算決算常任委員会付託													
53	平成24年度松前町水道事業会計決算認定について														
54	松前町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
55	松前町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
56	松前町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
57	松前町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
58	松前町子ども・子育て会議条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
59	平成25年度松前町一般会計補正予算（第２号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
60	平成25年度松前町国民健康保険特別会計補正予算（第２号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
61	平成25年度松前町介護保険特別会計補正予算（第２号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
62	伊予地区ごみ処理施設管理組合規約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
63	訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
64	松前町道路線の認定について（北黒田地区）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
	議案第65号　松前町道路線の認定についての継続審査の申し出の件（JR 北伊予駅）	○	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	●	△	○
65	松前町道路線の認定について（ＪＲ北伊予駅）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
提4	松前町議会委員会条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	△	○
	副議長辞職の件	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	△	○
	三好議長辞職勧告決議	●	○	退	退	○	○	退	○	△	退	○	○	除	退
提5	道州制導入に断固反対する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○

※副議長辞職の件について、松本一二美副議長は、地方自治法第117条の規定により除斥となっています。
※三好議長辞職勧告決議について、三好勝利議長は、地方自治法第117条の規定により除斥のため、松本一二美副議長が議長の職務をおこなっています。

平成25年度
一般・特別会計補正予算など

総務

速やかな防災計画の改訂を

問 地域防災計画の改訂内容は。また、防災マップの内容と家庭への配布時期は。

答 県の地域防災計画や法令の改正内容を検討し改訂する。

改訂の内訳は風水害編・震災対策編に新たに津波対策編とし、予防・応急・復旧対策を規定する。

また、新たな南海トラフ巨大地震の津波高の想定を基に津波対策の防災マップを今年度事業で作成し、配布する。

問 国体ホッケー競技場以外で必要な施設整備の予定は。

答 観客席や控え室などは仮設スタンドや健康増進センターの改修で対応する。

来年度以降、国体準備委員会を設置し日本ホッケー協会とも協議して整備する。

大会中の夜間照明は仮設で対応し、常設化は今後検討する。

費用は、決定段階で予算計上する。

一部改修で快適なホッケー会場施設に
（増進センター）

文教

北中耐震化工事始まる

北伊予中学校体育館
耐震補強工事中

問 北伊予中学校体育館耐震工事に伴う債務負担行為の内訳と今後の国からの補助金の見込みは。

また、セキュリティー機器取替工事の内容は。

答 工事期間は25・26年度で、総予算額は約2億5，000万円である。今回補正予算344万円計上し、残りが平成26年度の事業となる。また、来年度も国の補助金を見込んでいる。

取替工事の内容は、玄関ドア改修に伴うマグネットセンサー及び男女トイレ配線の撤去と取付工事だ。

問 松前小学校校庭の排水工事の理由は。

答 グラウンド内の雨水が神社へ流れるのを防ぐため。

問 義農作兵衛及び神社などの町民アンケートの内容は。

答 認知度、利用頻度を調査するものである。

※委員から、義農顕彰館についてもアンケートをとってほしいと要望があった。

委員会ニュース

厚生

子ども・子育て支援のために

問 松前町子ども・子育て会議条例の委員や事務などの内容は。

答 委員は広く選任し、偏らないように15名選定する。

この会議は、支援事業の計画を策定し、事業の進捗状況に応じて、年に1、2回程度開催する。

委員の任期は、原則2年としている。

運営の事務局は福祉課に置く。幼稚園は教育委員会所管であるが、協力し実施する。

問 公園遊具の撤去対応、及び新設は。

答 遊具の点検結果を区長に通知し、地元の意見を聞いて撤去を実施。新設は、補助金交付要綱に基づき補助を行う。

問 保育所職員処遇改善臨時特例事業の補助金の内容は。

答 2ヶ所の私立保育園に、入所児童数や施設の規模により積算し支出する。

問 介護保険事業運営基金の目標とか目安はあるのか。

答 3年間の事業運営で、保険給付が不足する時は基金を取り崩し、余裕があれば積み立てる。目標や目安はない。

産業建設

松前を全国発信

にぎわう松前物産展

問 大阪での「愛媛のふるさとうまいものフェア」の出展を通して、地場産業推進事業の課題は。リピーター定着のための情報発信の今後の取り組みは。

答 人気商品の絞込みで販売品目を検討し、リピーターを増やすとともに、ダイレクトメールやフェイスブックなどの活用で販路拡大に努める。

問 JR北伊予駅をまたぐ町道認定において、詳細な事業費や計画などの説明を求める。

答 国に対して事業申請を行うために、今回、道路認定を求めるものであり、事業費はJRの詳細設計が終わらないと分からない。

意見 ★ 東西をつなぐ高架橋は、古くから地元要望があり、通行人の危険が回避できる。また、今なら補助もあり、有利な条件で整備ができる良い機会では。

★ 事業費がわからない状況の認定はいかがなものか。

○ 採決の結果、賛否同数のため、委員長決定により継続審査とする。

問 訴えの提起は。

答 町営住宅家賃滞納者において、未だ多額の滞納があるため、訴訟に踏み切る。

※ 委員から、滞納額が多額になる前に、早めに対応を求める意見があった。

5議員が登壇

◆赤字項目は、本文で紹介しています。

八束　正　議員（9ページ）

◆筒井徳丸線の国道より東の計画は
◆熱中症対策は、小中学校の教室冷房化は
◆ふるさと納税の今までの件数、金額、活用状況は

藤岡　緑　議員（10ページ）

◆地域防災における備蓄は
◆独居高齢者の暮らしのサポート体制は
◆災害時のトイレ問題、インフラ復旧までの対策は
◆社会保障改革から見える要支援者介護サービスの内容は
◆国体準備室が進めるホッケー会場整備の進捗度は

松本　一二美　議員（11ページ）

◆学校の防災対策と健康支援は
①非構造部材の耐震化は　②防災頭巾の製作を
③防火備蓄物の整備は　④子ども安心カードの導入は
◆義農公園プールに替わる学校プールの開放を

村井　慶太郎　議員（12ページ）

◆町道東176号線の認定方法は
◆決算審査の監査委員の意見は行政に反映されているか

稲田　孔　議員（13ページ）

◆社会保障制度改革が及ぼす影響は
◆地震、津波、原発震災への備えは

一般質問とは・・

- 議員が町の行政全般について質問し、町長や部長などが答弁するものです。
- 議員一人あたりの発言時間は45分です。
- 登壇は、通告書（質問内容を要約した書類）の提出順に行われます。
- 議会の会議録が庁舎1階ロビーの情報公開コーナーにあります。詳しい内容がご覧いただけます。（9月議会分は11月末から）

東へ延伸が望まれる想い通り

筒井徳丸線の国道より東の計画は

今後　構想を描く

問

平成23年3月筒井徳丸線が国道56号まで開通した。国道より東の計画は。

産業建設部長

第4次総合計画の中で長期構想として位置づけているが、今のところ青写真のようなものは策定してない。

今後、道路整備を進めながら構想を描いていく。

熱中症対策を

予防周知に努める

問

①　今年の夏は猛暑が続き熱中症で病院へ運ばれる人が増加した。当町でも十分な啓蒙活動が必要では。

②　町内において搬送された方、熱中症が原因で亡くなった方はいなかったか。

③　子どもたちの熱中症対策として小中学校の教室の冷房化の状況と今後の計画は。

健康課長

①　広報やホームページでの周知と見守り推進委員への講習会を行うなど今後も幅広く予防の周知に努める。

②　亡くなった方はいないが、13人が熱中症の疑いで搬送され、このうち9人が熱中症と診断された。

③　平成23年度に小学校に天井扇風機を設置して温度を下げる対策をした。今後、中学校にも設置を考えている。エアコンについては、学校現場の声を聞きながら検討していく。

長期保存パン

地域防災における備蓄の基本的考えは

自助で7日間耐えうる準備を

問

南海トラフ巨大地震を想定した広域被災の場合、3日から7日の備蓄が必要と耐久期間の延長が発表された。

地域防災における町の備蓄に対する考えは。

防災担当副町長

500mℓのペットボトル水、長期保存パン千人分、毛布200枚、日用品などを松前公園体育館の備蓄倉庫に保管中。飲料水は、恵久美、北伊予（来年3月完成）の浄水場のタンク水が利用できるようにする。県内全域で物資の調達備蓄調整を行うため東中南予の3か所に拠点地を決め各市町への支援につなげる。各家庭での日常生活中のストックも増量するよう広報していく。

昨年9月実施の独居高齢者の実態調査結果は

対象者1，280人中支援必要者7人に対応

問

昨年実施した日本郵便株式会社との連携による町内の一人暮らしの高齢者に対する生活状況確認調査の結果は。

その後の支援体制と内容は。

健康課長

調査結果により支援が必要と思われる7人中5人については、独居高齢者見守り推進委員の支援を続行し、高齢者のニーズの発見からサービスの提供へと結びつけていく。

2回目の調査で28人が生活の不安や相談したい旨の回答を寄せていたが大半は、地域包括センターや介護支援センターの支援があることが判明。今後は定期的訪問や生活支援の検討も行う。

松本　一二美　議員

学校の非構造部材の耐震対策を

再度点検し対策を講じる

問

地震発生時、子どもたちが過ごす教室の非構造部材（書棚・テレビ・ガラス・照明器具など）の落下・転倒・飛散を心配する。

子どもたちの命を守る耐震化対策の現状は。

教育長

命を守る防災対策の一つとして、今年度町内小・中学校の児童・生徒全員に防災ヘルメットを配布した。

学校ごとに落下や転倒、移動による影響がないか再度点検を行い、必要に応じて対策を講じる。

防災教室で防災頭巾の製作を

広く実施したい

問

防災頭巾は、椅子の座布団や背もたれとして使用できる。常に児童・生徒の近くにあるから災害時に直ぐ役立つ。

自ら作ることで防災教育になる防災頭巾の製作を提案するが考えは。

教育長

防災教育の一環として、大変意義深いと考える。

学校だけでなく、家庭や地域住民も参加できるよう実施したい。

村井　慶太郎　議員

ＪＲ北伊予駅　正面

ＪＲ北伊予駅　西側

事業計画の綿密な調査・協議は

現地調査・関係機関など協議を実施

町道東176号線認定
（ＪＲ北伊予駅　東西歩道橋）
工期、工事予算をガラス張りに

問

今回の町道東１７６号線の認定方法は、今までの手法と違っていないか。

また、財源有効利用のため事前の綿密な調査、住民要望の的確な把握、関係者などとの協議はできているのか。

副町長

平成24年度に基本設計を行い、ＪＲ四国・県・地元実行委員と協議した。

実施可能な場合は、詳細設計を行い国への補助要望を行うとともに町道認定も進め用地買収、工事へ移行する。

町道東１７６号線も同様な経緯で平成17年から現地調査、基礎調査を行い可能性があると判断した。財源は、国の交付金55％、残りは、県、松前町が折半し22・５％負担となる予定。

決算審査意見書の受け止め方は

指摘や改善措置は直ちに実施

問

決算審査を監査委員に行ってもらっている。結びなどで指摘された事項について行政は、どのように受け止め、また次年度に反映させているのか。

町長

監査は、公正で合理的かつ効率的な地方公共団体の行政を確保することができているかを審査し報告を頂いている。この報告を行政に反映させることが重要である。決算審査書の中で指摘や改善措置を求められた場合には直ちに検討し改善を実施している。

稲田　孔　議員

予想される津波への対策が求められる松前港

安倍内閣の社会保障制度改悪への対処方針は

改革の詳細は不明であり、影響はわからない

問

安倍内閣の社会保障制度改悪計画は、松前町民の暮らしと町政に多大の負担をもたらす恐れがある。町はその影響をどう予測し、負担軽減のためにどう対処するのか。

70～74歳の医療窓口が2割に増え、介護で介護予防1、2が保険外しされ、特養老ホーム入所は要介護3以上となるというが、その影響は。

副町長

今回の改革の詳細は不明であり、現段階で住民への影響は分からない。

来年度70歳になる人の医療費の負担増は平均で年間1人当たり3万8千円程度。

平成24年度中の特養老ホームへの当町住民の新たな入居者は60名で、要介護3以上は45名であった。

地震、津波、原発震災への備えは

地域防災計画は防災・減災を基本に改定

問

町の防災計画の見直しでは、人命の被害を少なくする予防計画を重視すべきと考えるが見解を問う。木造住宅の耐震補強、家具の転倒防止、軟弱地盤の耐震化、津波防止対策はどうなっているか。

伊方原発で福島のような過酷な事故が起こった場合の町の対策は。

伊方原発の再稼動は認められない。直ちに廃炉すべきだが、見解を問う。

副町長

町の防災計画は防災・減災を基本に改定する。

原子力災害の場合は国・県・四電の連携で対処する。被爆医療は県から医療チームが派遣される。当町は伊方町民の避難地域だが、困難な場合は他市町へ避難してもらう。

議員研修

予算決算常任委員会の設置に向けて

総務常任委員会

★日程
7月2日

★場所
大阪府四條畷市

★目的
委員会の見直しによる予算特別委員会の運営

★内容
四條畷市議会は、当初予算について、予算関係の全てを予算特別委員会に付託し審議する。審議日数を3日間取って、歳入、歳出前半として、議会、総務費、民生費、衛生費、歳出後半として、農林水産費、商工費、土木費、消防費、教育費、公債費、諸支出費、予備費、そして、歳入歳出全般という流れで審査を行う。各予算の説明は、担当課長が行う。構成人数は、議員定数16名の内8人は予算特別委員会の委員として選出され、残りの8人が決算特別委員会へ入り、全議員で予算と決算を審査する。

当町においても、予算と決算を関連して審査する委員会の見直しを行う予定。今回の研修内容を踏まえ松前町に合った議会運営を行い、他市町にも誇れる内容になるよう努力する。

★今後の課題
12月定例議会より予算関係も審査し、課題に対し、その都度、勉強会などを開催し議会のレベルアップを目指したい。

「伝わる広報」答えはこの研修会に

議会広報編集特別委員会

★日程
7月29・30日

★場所
東京都永田町
シェーンバッハ会館

★目的
全国の議会だより編集委員とその関係者が集う会で、広報紙の作り方のイロハから実践編、最近発行された紙面の改善など、原点を見直す。

★内容
1日目は議会だよりを「伝える広報」から「伝わる広報」という考え方の下、文章言葉づかい、デザイン・レイアウト、写真の三つの部門に分けて大スクリーンに映し出して、その道のプロたちから分かりやすい講義を受けた。

2日目は、事前に送っ

目からうろこの研修会

議員も一緒に地場産業をPR

産業建設常任委員会

★日程
7月1日

★場所
大阪市ダイキなんば店

★目的
松前町のPRと地場産業の育成

★内容
愛媛県市町連携物産展

「愛媛のふるさとうまいものフェア」の現場で松前町のPRと地場産業の育成を目的に、他市町の取り組みも参考にしながら、視察研修をおこなった。

議員も商工会、町職員と一緒になって、松前町の物産販売推進に挑戦。試食を進めたり、購入を促したり、松前町の物産品PR事業をおこなった。

★今後の課題
今回のPR事業は、1月の名古屋・名鉄百貨店「まさき町うまいものフェア」に続いて2回目になる。今後も引き続き、松前の特産品PRに力を入れていく予定である。

フェア開催前のPRやリピーター確保など、業者自らの企業努力も必要だ。開催中、品薄が起きない配慮に努めてもらいたい。

ロゴマークの活用や地元キャラクターの登場など、地場産業が活性化するよう、今後もレベルアップした持続的な取り組みを期待する。

町議会議員研修会に参加

- 7月3日
- 愛媛県武道館
- 13時30分より3時間、次の内容で研修を受ける。

① 第二次安倍政権の行方と日本の将来
② 上手なコミュニケーション法

県下9町の議員が一堂に会して

ていた今年の3月号の専門家による厳しい審査の結果が発表された。

私たちの分科会には7つの市町の議会だよりがその土俵に上がっていた。コンテスト上位入賞が常連の町や、初めての挑戦の市町などに対してそれぞれの長所、短所を明確に指摘してもらった。

結果、今後のしっかりとした指針が見えたように感じた。

★今後の課題

読者に興味を持ってもらい読みたい気持ちにさせる表紙や、各項目のリードの大切さ、文字数、写真、余白のバランス、そして正確でわかりやすい文章表現が、公開度に繋がる。

この事が研修を通じてよく理解できた。

今後は、伝わる広報紙となるよう委員一同で、更にステップアップしていく。

報告事項

③ 平成24年度決算に係る財政指標の報告について

平成24年度の早期健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類はいずれも適正に作成されているとの監査委員の報告があった。（下記表を参照）

平成24年度 健全化判断比率及び資金不足比率報告

健全化判断比率	平成24年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	１４．３２
連結実質赤字比率	—	１９．３２
実質公債費比率	１２．７	２５．０
将来負担比率	９５．７	３５０．０

※　実質収支と連結実質収支が黒字のため、実質赤字比率と連結実質赤字比率はありません。

会計名	比率名	平成24年度	経営健全化基準
水道事業会計	資金不足比率	—	２０．０
公共下水道事業特別会計	資金不足比率	—	２０．０

※　資金不足額が無いため、資金不足比率はありません。

条例改正

⑭ 松前町税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い改正するもの。

・主な改正点

年金所得にかかる仮特別徴収税額の算定方法の見直し。

上場株式等に係る譲渡所得等の分離課税を新設したこと。

⑯ 松前町介護保険条例の一部を改正する条例

国税及び地方税の延滞金の見直しに合わせ、介護保険料に係る延滞金の割合を引き下げるための改正

⑰ 松前町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

同様の理由により後期高齢者医療保険料に係る延滞金の割合を引き下げるための改正

平成25年度 一般会計補正予算概要

■予算総額　（単位：円）

区　分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	90億6,040万	1億8,353万	92億4,393万	2.0%
前年度	91億9,967万	6,935万	92億6,902万	0.8%
前年度対比	98.5%	264.6%	99.7%	

■松前町一般会計補正予算（第２号）主要事業　（単位：円）

科　目	項　目	金　額
総務費	防災事業（防災マップ作成・地域防災計画改訂）	600万
民生費	子ども・子育て支援事業	633万
	保育士等処遇改善臨時特例事業	360万
農林水産業費	土地改良事業	1,950万
商工費	地場産業推進事業	696万
土木費	松前町都市計画基礎調査事業	361万
教育費	中学校営繕事業	411万
	国体施設整備事業	8,527万

町民の声

「年寄りの心配事」

老防災士

東は伊予鉄郡中線の線路、西は稲荷神社、南は田んぼ、北は重信川の堤防に囲まれた75戸の西高柳の一画に住む防災士です。小・中学校は近く、通学は楽で、駅も近く交通も便利。飛行機の離着陸時の音を除けば、住み良い住宅地です。

ここは、家一軒ない水田地帯に、40年ほど前から30～40歳代の人々が一斉に家を建て始め、数年間で家並の原形ができました。その後、徐々に若い人たちが加わって、現在の形になりました。

この組で気になるのは自主防災活動に与える高齢化の影響です。

概算ですが、組の人口２００人から中学生以下を除く１６０人が、５年後には70歳以上が45人から60人（38％）に増えるのに対し、70歳未満は１００人（62％）と推定されます。

主力となって地域の活動をしてきた60～70歳の人たちも年を取るにつれての体力の低下は仕方なく、しかも前記のとおり５年後には60人（38％）となると当然援護者も増え、災害時の援護にあたる人数の面で対応が難しくなると思います。自主防災活動の『自分の命は自分で守る。自分たちの町は、自分たちで守る』が、私たちの組ではできなくなるのではと考えてしまいます。

狭い地区の身近な悩みを取り上げましたが、各方面で形は違っても、高齢化に伴い生じる問題は数多くあります。自主防災活動を積極的に推進する松前町としても、検討に値する問題ではないでしょうか。

傍聴席

傍聴席にて思うこと

徳丸　中野　良雄

9月13日、地区選出の議員が一般質問をするとの事で、参加者を募り議会で傍聴いたしました。

徳丸以外の傍聴者は数少なくてひっそりとしていました。傍聴という事で自分の意見が言えないのですが、とても為になりました。

筒井徳丸線の件について、タイトルが大きすぎます。徳丸の住民は期待していましたが、国道56号からの東の計画はほとんど進んでいないとの事でがっかりです。松前町の東西を結ぶ線は小さな道路しかありません。東のはずれ、徳丸の住民として一日も早い徳丸筒井線と下水道の延長を併せて実現をお願いしたいものです。

今後も機会があれば参加したいと思います。

今回は、『パソコンから傍聴』をお休みします。

ポロシャツ着用で議員も活動

最近、庁舎内で職員が着用しているまさきのロゴマーク入りのカラフルなポロシャツを議員も自由に着用し、松前のアピールに協力しています。

四国・愛媛
まさき町
恵み、めぐるまち、まさき。

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

多くのみなさんの傍聴を庁舎5階でお待ちしています。

（次回は12月上～中旬の予定です）

町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。

（５００字程度）

【宛先】
松前町筒井６３１
議会広報常任委員会
「町民の声」
Fax ９８５－４１４８
E-mail：
500gikai@town.masaki.ehime.jp

松前町で活きる&みんなで支える

青年後継者に期待します

ご家族紹介

＊両親と妻、長女の5人家族＊

主な作物は米。麦・レタス・百合栽培も。天気を味方にしながら、作業の経過をファイルで保管するなど、11年間で耕作地を4倍に広げた努力家。

将来は農業の組織づくりにも力を入れて、次世代に継承していくと、意欲満々。

♡可愛いお子さんもお米大好き♡

東古泉　相原さん　ご一家

～広報委員会からのお知らせ～

★今月号から広報委員も紙面もリニューアルしてお届けします。

研修で学んだこと、専門家から指摘を受けた点を中心に改善していきます。まだまだ不十分な部分も多いのですが、これからも個々の努力とチームワークでより伝わる広報を目指していきます。

★今回の改正で、議会広報編集委員会は、特別委員会から常任委員会となりました。

特別委員会は、一定の目的のため期間を限定してその目的が達成すると委員会は閉じる性質のものです。広報委員会は、定例会のたびに通年で活動しているのが現状のため、常任委員会として条例に位置づけ、委員会を明確にするということになりました。

編集後記

この夏は猛暑や異常気象が日本列島を襲って、よくマスコミの話題にもなっていましたが、松前町議会も例年になく注目を浴びているようです。

皆さんに正確に伝えることを責務とする広報としては、公開度を高めわかりやすく書き上げたつもりですが、至らぬ点はご容赦ください。

今後は常任委員会として活動していきますので、よろしくお願いします。

（藤岡　緑）

議会広報常任委員会
委員長　藤岡　緑
副委員長　松本一二美
委員　八束　正
委員　寺下　武
委員　加藤　博徳
委員　稲田　輝宏
委員　稲田　孔

VEGETABLE OIL INK

この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。

発行／松前町議会　編集／議会広報常任委員会
〒791-3192 愛媛県伊予郡松前町大字筒井631
TEL.089-985-4130　FAX.089-985-4148
【松前町ホームページアドレス】
http://www.town.masaki.ehime.jp/